

## 第五期総合計画は 人口減の反省の上に



### 問

第五期総合計画の作業が進められているが、第4期総合計画の総括の上に策定されなければならない。帯広に隣接する幕別、音更、芽室のうち、同じような条件にありながら幕別町だけが人口減となっている。合併協議でも大幅な人口増を想定していたが、早くも人口が減り始めた原因はどこにあると考えるか。

また、町の基本となる人口を維持あるいは増加させるには、定住支援、雇用の拡大と同時に、魅力ある街づくりが重要である。医療・保育環境など子育て支援の強化や、高齢者、低所得者に対する生活支援の強化などに努力すべきだ。これからの町づくりに、また第5期総合計画にどう具体化するのか伺いたい。

**町長** 人口減の原因として、死亡数が出生者数を上

回る自然増減や、転入より転出者が多い社会増減がある。帯広圏では西帯広や稲田地区、木野地区に広い駐車場を有する複数の郊外型商業施設が進出し、日常生活の利便性が向上したことで、住宅地の供給で音更町や芽室町に優位性があることや、両町とも農業関連の大規模な工場を有し、雇用の場がある程度確保されていることが考えられる。

## 高齢者・障害者にやさしい町に

### 問

高齢化が進むなか、高齢者・障害者が活発に社会参加ができるよう条件整備する必要がある。

一つは、車イス、電動4輪車などで自由に外出できるように、歩道の整備、段差の解消など街全体のバリアフリー化につとめること。

また、障害者トイレの整備充実と、その存在を示す

子育て支援の強化は今後のまちづくりを進める上で、最も重点をおく施策の一つであり、次期総合計画でこれまでの保育を中心とした児童福祉から、安心して子どもを産み育てることができ、子育て支援に改め、その位置付けを明確にしたい。

今後道路整備や公園や公共施設整備時に、誰もが安全で利用しやすい環境整備に努めたい。

高齢者、低所得者に対する生活支援の強化は、次期総合計画では地域の中で安心して自立した生活ができるよう、町民の福祉意識を高め、地域、福祉団体、行政が連携し共に支えあう地域福祉の環境づくりに重点をおく。

### 町長

道路改良整備時や2次改修整備時に生活道路の縁石の変更、段差勾配の改善、札内駅施設では、誘導点字ブロックやエレベーター、斜路階段など基準に沿ったバリアフリー化に努めている。

### 問

最近特に、国道、道道、町道を問わず、

## 道路の維持管理に もっと力を入れて

路肩の草刈や、歩道・車道の除草が十分に行われていない。交通安全の点からも、道路の傷みを防いで将来の大きな負担としないためにも、維持管理に力を入れる必要がある。町道の管理の見直しを求めると同時に、国道に対しても要請すべきと思うがどうか。

### 町長

町道の路肩の草刈については、主要町道126km、その他町道519kmを計画的に実施し、道路パトロールの際に交通安全上危険と思われる場所は、その都度草刈を実施している。

舗装の割れ目の除草は刈り払い機や手作業での作業となり、限られた予算のなかで、今後とも維持管理に努めたい。

国や、道に対し、道路維持・管理のほか、観光及び景観美化の観点からも草刈や除草等について、さらに要望していく。